

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和年月日

事業所名 放課後等デイサービスGIFT Plus

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|------------------------------------|--|----|-------------------|-----------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | | 必用最低限の家財でスペースを確保している | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | | 基準配置を下回らないようにしている | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | 5 | | 重度の利用者がいない為、現在の設備で適正である。今後バリアフリー化の予定はない |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | | 毎日ミーティングを開き、改善すべき点を話し合っている | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | 可能な限り要望に応えるよう工夫している | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | 会社HPに掲載している | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 5 | | 今現在実施していない。今後は実施予定である。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | 案内のある研修は選別して参加している | 全スタッフが満遍なく参加できるように管理している。また、やみくもになんでも参加しないように選別している。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | 日々の送迎等でコミュニケーションをとっている | 得られた情報は全スタッフにグループラインやミーティングで共有して、対策の話し合いをしている |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | アセスメントシートの活用をしている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | 一旦、企画スタッフが原案を作り、全スタッフで調整話し合いをしている | 今後は持ち回りで原案を作り、各々の企画と得意分野を活かした立案をしていく |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | 話し合いをしている為、固定化はしない | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | | メリハリがあるように、長期短期の課題設定をしている | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | 固定化しないように話し合いをしている | 毎日のミーティングで、個別の状況変化などの共有をしながら計画に盛り込んでいる |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | 毎日ミーティングを開催している | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | 5 | 送迎が就業時間ギリギリで終る為出来ていない | 勤務終了時間を守る為、急を要する事案はグループラインにて共有している。翌日のミーティングで振り返りと対策を行っている |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | 漏れなくケース記録を書いている | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | 児発管が年間スケジュールを組んでいる | 年間スケジュールをもとに確実に見直し会議を行い、計画等に役立てている |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 5 | | ガイドラインの読み合わせをしている | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | 全ての会議に参加している | 現在は統括と、児発管が手分けして参加しているが、全員がそれぞれ参加できるようにしていきたい |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 5 | | 学校とのケース会議を定期的に行っている | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | 5 | | 現在、医療ケアが必要な子供はいない為実施していないが、今後は保護者に理解を得ながら、体制調整をしていく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | 5 | 相談支援員や保護者からの情報提供のみ | 利用契約前にケース会議等の開催をし、情報共有や連携の提案を行っていききたい |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | | 要望があれば行っている | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 5 | 利用前の情報提供のみ | 研修は受けることもある。頻繁な交流はないため、今後は連携が取れるように繋ぎを行う |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 5 | | コロナの影響を考えて、現在は行っていない。終息を待って行っていきたい |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 5 | | 機会があれば必ず参加している | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | 担当者会議、ケース会議を頻繁に行っている | 送迎時や、LINE等を使って状態を常に理解できるようにしている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 5 | | 相談をしやすい環境を作っている | 共通支援や、家庭内の困り感など、その都度相談支援が出来るように、環境を作っている |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | 契約時に行っている | 問い合わせがあったときには、その都度説明を行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | LINE等も活用している | スムーズに対応できるように、24時間体制をとりタイムリーな支援が出来るように心がけている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 5 | | コロナの影響もあり実施できていないが、今後は行なっていく準備をしている |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | | 今のところ苦情はないが、即座に動ける体制を作っている |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | 毎月「お便り」を発行している | 活動内容を掲載した「お便り」を毎月発行し、コロナウイルスの注意喚起等や、活動内容の提供、細かな情報提供をしている |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 5 | | 個人情報には鍵付きのキャビネットに入れている | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | それぞれの家庭に応じた対応をしている | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 5 | | コロナの影響も考え行っていない |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | 5 | 全てマニュアル作成している | マニュアルに沿って、活動はしているが保護者への周知は不完全である。今後は公表していきながら、周知してもらう |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | 定期的に行っている | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | ミーティング時に必ず話し合っている | ヒヤリハットを活かしながら、場面の分析をしている |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | | 今のところ身体拘束が必要な子供はいない | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | | 保護者と連携をしながら、職員の情報共有をしている | 医師の診断書も回覧させてもらい、スタッフ間の共有をしながら十分に配慮している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 細かな事案も記録している | ミーティングにて再確認しながら、職員の意識改善につなげている |